

日本血液浄化技術学会 投稿規定

本誌では血液浄化医療、技術全般にわたる原稿で、他誌に掲載されていないものを掲載し、筆頭著者は原則、本会員といたします。但し、共著者もしくは依頼原稿はこの限りではありません。総説、原著、症例報告、技術工夫については、査読（peer review）を行い、査読意見に基づき、編集委員会で採否を決定いたします。また、編集方針に従って原稿の加筆、訂正、削除などをお願いすることがあります。

1. 原稿の様式

原稿の様式としては、総説、解説、原著、症例報告、講演録、技術・工夫、会議録、短報、レター、Q&Aなどとし（表1）、その様式を指定して投稿して下さい。

表1 論文の様式

様式	内容
総説	特定の分野や主題について、関連文献、資料に基づいて総括的に論評した記事。
解説	特定の分野や主題について解説した記事。
原著	血液浄化およびその関連分野に関する研究、開発、調査で、独創性、新規性のある文献で、著者名と所属機関名が必ず記載されており、要旨や要約、目的、対象、方法、結果、考察、結論の体裁で構成されているもの。
症例報告	実際の経験症例を取り上げた報告記事。
技術・工夫	装置や製品、業務などに対する新しい試み、経験や応用などをまとめたもの。
講演録	一般演題や指定演題などで発表された内容を、論文の形式に則ってまとめたもの。
会議録	学会、研究会や各種機関、団体で発表される抄録および要旨。
短報	研究の一部分や特定のテーマに焦点を当て、その結果や考察を簡潔にまとめたもの。
レター	手紙形式の記事。
Q&A	質問と答えで構成された記事。

2. 原稿の作成

- 1) 原則としてパーソナルコンピュータを使用し、文字のみの本文をWordまたはTextのファイル形式で作成してください。
- 2) 原稿は日本語を原則として当用漢字および新仮名づかいを使用し、句読点は正確に記してください。
- 3) 原則として難解な数式、特殊な用語、外国語は避けて記述し、やむを得ず用いた場合には脚注を付けてください。
- 4) アラビア数字、国際単位（SI単位）を用いてください。
- 5) 図表はWord、Excel、Power Point、JPEG、GIF、で作成してください。図、写真などは鮮明なもので作成してください。掲載は原則的に白黒印刷となりますので、カラーで提出される場合は印刷時のコントラストにご配慮ください。他誌書から図表を転載利用する場合は、著作者ならびに出版元の許諾が必要です。自著からの再使用についても出版元の許諾が必要となりますのでご注意願います。
- 6) 図表は本文とは別に、それぞれのみのファイルを用意し、図表の下に番号を記し、タイトルもしくは説明文を添えてください。本文中に挿入位置を明示してください。
- 7) 原稿には頁をつけてください。
- 8) 個人情報保護に配慮して執筆願います。

3. 原稿の体裁

表題頁, 本文, 文献, 図表の順にまとめてください。

1) 表題頁

① 題名

日本語と英語の双方を用意してください。

サブタイトルにはハイフン（－－）を付けてください。

② 著者および共同著者

日本語と英語で記載してください。

所属の異なる場合は, 名前の右端上に, 名前^{*1}, 名前^{*2}のように番号を付けて区別してください。いずれにも読みガナを入れてください。

③ 施設名, 所属

日本語と英語で記載してください。所属の異なる場合は改行し, 右端上に施設名 所属^{*1}, 施設名所属^{*2}のように番号を付けてください。

④ キーワード

日本語と英語で5語以内のキーワード, key wordsを入れてください。

⑤ 要旨

総説, 原著, 症例報告, 技術・工夫には, 邦文800字以内, 英文200語以内の要旨を記載してください。短報には, 邦文800字以内の要旨を記載してください。

⑥ 筆頭者の氏名, 郵便番号, 住所, 電話番号, FAX番号, 電子メールアドレスを記載してください。なお, 英語表記もお願いします。

2) 本文

① 本文は緒言（はじめに, まえがき）, 研究方法（対象, 症例, 方法）, 結果, 考察, 結論（結語, まとめ, おわりに）の順序で記述してください。

② 本文の文字数と図表数は以下の通り（表2）とし, 図表は1点につき400字前後を減じてください。本文の文字数に参考文献は含みません。

表2 本文の文字数と図表数

様式	文字数	図表数
総説, 解説	15,000文字以内	8枚以内
原著, 症例報告	12,000文字以内	6枚以内
技術・工夫, 講演録, 短報	8,000文字以内	4枚以内
会議録	4,000文字以内	2枚以内
レターとQ&A	2,000文字以内	2枚以内

3) 文 献

① 文献は本文中の引用箇所に, 半角上付で引用順に1), 2) 3), 4) - 6)のように必ず記載してください。孫引きを避け, 必ず原典にさかのぼって出處を明示してください。

② 著者名は筆頭著者から3名までを記載し, それ以上は, 「他」または「et al」と記載してください。

③ 参考文献数は、総説が40件以内、その他の様式は20件以内としてください。

【雑誌の場合】

著者名：論文名、雑誌名、巻：頁（初め－終わり）、西暦年

例：

- 1) Mareels G, De Wachter DS, Veadonck PR, et al: Computational Fluid Dynamics-Analysis of the Niagara Hemodialysis Catheter in a Right Heart Model. *Artificial Organs* 28: 7 (639-648), 2004
- 2) 塚本功、土屋陽平、渡辺裕輔、他：持続的腎機能代替療法における非カフ型カテーテルのマネジメント. *日急性血浄化会誌* 12:1 (9-14), 2021

【書籍の場合】

著者名：論文名、書籍名（編者名）、頁（初め－終わり）、出版社名、所在地、西暦年

例：

- 1) Lee S, Lee S, Bae S, et al: Relationship between chronic kidney disease, without diabetes mellitus and components of frailty in community-dwelling Japanese older adults. *Geriatr Gerontol Int.* 18 (286-92), WILEY. 2018
- 2) 小野淳一、宮田誠治、斎木豊徳：常識クリアランスから計算された標準化透析量、異論・論争 実測値をもとに得られる推定値と理論値の較差の検討. *Clinical Engineering* 18: (154-160), 2007

【誌名を略記する場合】

出版雑誌の定める略名を使用し、また外国のものはIndex Medicusの略称に準じてください。

4. 著作権

掲載された論文の著作権は日本血液浄化技術学会に帰属するものといたします。

5. 利益相反

発表論文提出時に学会ホームページの『日本血液浄化技術学会における利益相反（COI）に関する指針』および『同取り扱い細則』に従い、当該研究論文の著者および共著者のCOI状態を適切に開示するものとします。COI状態の有無を本文末尾（「結論」と「参考文献」の間）に記載して下さい。

例文① 著者の利益相反開示：本論文発表内容に関連して開示すべき利益相反はない。

例文② 著者の利益相反開示：著者（〇〇）は〇〇株式会社より寄付を得ている。それ以外の開示すべき利益相反状態はない。

※利益相反（COI）に関する指針：https://jstb.jp/pdf/jstb_coi_ver1.0.pdf

※利益相反（COI）に関する取り扱い細則：https://jstb.jp/pdf/jstb_coi_detai_202111.pdf

6. 二重投稿について

日本血液浄化技術学会では、論文の二重投稿を禁止します。同一の研究結果についての論文等（投稿中のもの、受理されたものを含む）を2つ以上の審査機関・出版社等に投稿することは「二重投稿」とみなされます。著者がすでに発行されている自著論文（共著者を含む）と同一の患者群や対象群を用いる場合には、当該論文を引用の上、論文中に明記してください。二重投稿が疑われる場合には、編集委員会にてその内容を検討し、

二重投稿と判断された場合には、その論文の掲載を取り消します。さらに編集員会に検討の上その悪質性が認識された場合には、「1年から5年の投稿禁止」、「一定期間の会員権利禁止」などの罰則を与えます。発表論文のご提出にあたっても、論文の内容が「二重投稿」に該当しないことを必ず確認してください。

7. 転載・引用について

他の文献より文章、図、表などを転載・引用される場合は、予め著作権者の許可を得てください。また、それらには引用先を明示してください（記載方法は3. 原稿の体裁を参照してください）。その際、原著者との交渉は執筆者にてお願いいたします。

8. 研究倫理

臨床研究の場合は、所属施設内の倫理委員会またはそれに準ずる機関の承認を得てください。ならびにその承認番号を論文中に明記してください。投稿者の周辺に適切な研究倫理審査委員会がない場合は、本学会で研究倫理審査を受けることが可能です。

9. 校正

- 1) 英文校正を受けて、英文校正証明書を添付してください。
- 2) 著者校正は原則として1度行います。共著の場合は校正者を指定してください。

10. 著者負担費用

本誌では掲載料を頂きませんが、別冊ご希望の場合は50部単位で実費にて作成致します。

11. 原稿の送付先

電子メールにて、文字原稿、図表ファイルを日本血液浄化技術学会事務局にお送りください。また、文字原稿、図表ファイルそれぞれをPDF形式に変換したファイルも合わせて添付してください。なお、欧文論文は、本学会公式欧文誌 Renal Replacement Therapy へ投稿してください。

一般社団法人 日本血液浄化技術学会

E-MAIL: contact@jstb.jp

【付則】

2009年4月1日施行

2017年4月1日に改定し、同日施行する

2020年1月1日に改定し、同日施行する

2020年2月18日に改定し、同日施行する

2021年10月7日に改定し、同日施行する

2022年9月9日に改定し、同日施行する

2024年3月17日に改定し、同日施行する

2024年12月6日に改定し、同日施行する

2025年2月13日に改定し、同日施行する

2025年3月21日に改定し、同日施行する